

# 国民健康保険事業特別会計 令和2年度決算の概要

## ポイント

### ◎保険税収入の増・保険給付費の減

- 被保険者数の減少 38,482人（前年度比△603人、△1.5%）
- 【歳入】 ・保険税収入 85,883千円（+2.4%）
- 【歳出】 ・保険給付費（歳出の6割超） △438,963千円（△4.0%）

### ◎一般会計繰入金の減

決算額：19億1千万円（前年度：20億6千万円）

- 歳出の法定負担分が予算よりも減となったことや保険税収入の伸びにより一般会計繰入金を減額し、歳入歳出の均衡を図った。

### ◎医療費適正化に向けた取組

- 第二期データヘルス計画に基づく保健事業の実施（平成30～令和5年度）
- 国保だより特別号の発行（7月）、戸別配布による制度の周知
- コロナ禍でも健診の必要性を周知し、集団健診を行うとともに、人間ドック等利用費補助の周知を行ったが件数は減少した。  
（人間ドック及び脳ドックの利用者へ最大2万円）補助 610件（△28.5%）

### ◎財政健全化に向けた取組

- 税率改定を行うとともに、小平市国保財政健全化計画に基づき、一般会計繰入金金の法定外繰入金（その他一般会計繰入金）を約1億3千万円削減した。

## 基礎データ

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
被保険者数（年度平均）	38,482人	39,085人	40,190人
現年度調定額（一人当たり）	94,882円	91,193円	90,752円
徴収率（全体）	86.0%	85.0%	84.3%
（現年度分）	94.3%	93.5%	93.7%
（滞納繰越分）	32.7%	35.3%	34.0%
一般会計繰入金	1,910,000千円	2,060,000千円	2,180,000千円
法定外繰入額（一人当たり）	26,257円	29,236円	31,656円
基金残高	401,588千円	401,577千円	351,577千円
保険給付費（一人当たり）	274,482円	281,479円	269,350円
特定健診受診率	45.5%	47.2%	48.6%
特定保健指導実施率	22.1%	20.4%	15.9%
ジェネリック医薬品普及率	78.3%（02年11月）	76.6%（01年11月）	73.1%（30年11月）

## 歳出

**保険給付費** 438,963千円の減（△4.0%）

被保険者数の減と、新型コロナウイルス感染症の影響により一人当たり医療費が減少  
・保険給付費（一人当たり）：274,482円（△2.5%）

**国民健康保険事業費納付金** 39,698千円の増（+0.7%）

小平市の医療費水準や所得水準に応じた、標準的な保険料相当額が東京都から示され、東京都へ納める。東京都全体として、必要額が増加したことによる増

**保健事業費** 7,122千円の減（△3.9%）

- ・特定健診 12,221人（前年度：12,769人）
- ・特定保健指導 327人（前年度：323人）
- ・集団健診 578人（前年度：652人）
- ・人間ドック等利用費補助 610件（前年度：853件）
- ・糖尿病性腎症重症化予防事業 参加8人（前年度：11人）
- ・ジェネリック医薬品差額通知 8,135件（10回）
- ・受診行動適正化指導事業（重複・頻回受診 訪問指導） 47人

## 歳入

**保険税** 85,883千円の増（+2.4%）

- ・徴収率 86.0%（+1.0%）

**国庫支出金** 48,616千円の増（+2,077.6%）

- ・国庫補助金の増（新型コロナウイルス感染症の減免に対する交付金の増）

**都支出金** 331,454千円の減（△2.9%）

- ・都補助金の増（保険給付費の減による普通交付金の減）

**繰入金** 150,000千円の減（△7.3%）

- ・一般会計繰入金 19億1千万円（前年度：20億6千万円）
- ・法定外繰入 1,010,439,746円（前年度：1,142,680,768円）
- ・一人当たり法定外繰入 26,257円（前年度：29,236円）